

ICOフィードバック解説

問題1 (単位：万円)

問1 ~ 問3

1. 勘定分析

(1) 買掛金

現金	9,048	期首	2,178
(差額)			
期末	2,130	仕入	9,000
	<u>11,178</u>		<u>11,178</u>

(2) 前渡金

期首	90	仕入	90
		(差額)	
現金	120	期末	120
	<u>210</u>		<u>210</u>

(3) 商品

期首商品	780	売上原価	12,600
		(差額)	
当期仕入	12,690	期末商品	870
	<u>13,470</u>		<u>13,470</u>

(4) 売掛金

期首	2,520	現金	11,820
		(差額)	
売上	12,000	期末	2,700
	<u>14,520</u>		<u>14,520</u>

(5) 短期借入金

現金	2,520	期首	1,680
(差額)			
期末	2,160	現金	3,000
	<u>4,680</u>		<u>4,680</u>

(6) 長期借入金

現金	330	期首	1,200
(差額)			
期末	1,710	現金	840
	<u>2,040</u>		<u>2,040</u>

(7) 建物

期首	3,390	現金売却	120
現金	1,110	減価償却費	480
(差額)		期末	3,900
	<u>4,500</u>		<u>4,500</u>

(8) 未払法人税等

現金	312	期首	312
		法人税等	240
期末	240	(差額)	
	<u>552</u>		<u>552</u>

(9) 利益剰余金

現金	300	期首	510
(配当)			
期末	570	当期純利益	360
	<u>870</u>		<u>870</u>

2. 資金繰表

資金繰表

(単位：万円)

I 経常収支

1 経常収入

現金売上 6,000

売掛金回収 (* : 11,820)

経常収入合計 (ア : 17,820)

2 経常支出

(1) 仕入支出

現金仕入 3,600

買掛金支払 (* : 9,048)

前渡金 120 (* : 12,768)

(2) 営業費支出 3,972

(3) 支払利息支出 360

経常支出合計 (イ : 17,100)

経常収支 (* : 黒字) 額 (* : 720)

II 経常外収支

1 経常外収入

建物売却額 120 120

2 経常外支出

(1) 建物購入額 (ウ : 1,110)

(2) 決算関係支出

① 法人税等支払 312

② 配当金 300 612

経常外支出合計 (エ : 1,722)

経常外収支 (* : 赤字) 額 (* : △1,602)

III 財務収支

1 財務収入

短期借入金 3,000

長期借入金 840

財務収入合計 3,840

2 財務支出

短期借入金返済 (オ : 2,520)

長期借入金返済 330

財務支出合計 (カ : 2,850)

財務収支 (* : 黒字) 額 (* : 990)

IV 差引収支 (* : 黒字) 額 (* : 108)

V 期首現金残高 1,242

VI 次期繰越現金残高 1,350

3. 資金運用表(1)

<u>資金運用表(1)</u>		(単位：万円)
資金の源泉		
長期借入金の増加	510	
利益剰余金の増加	(キ： 60)	←570-510
合 計	(* : 570)	
資金の使途		
建物の増加	510	
小 計	510	
運転資金への充当	(ク： 60)	
合 計	(* : 570)	

4. 運転資金明細表

<u>運転資金明細表</u>		(単位：万円)
資金の源泉		
前払費用の減少	18	
短期借入金増加	(* : 480)	←2,160-1,680
小 計	(ケ： 498)	
運転資金の不足	(* : 60)	
合 計	(* : 558)	
資金の使途		
現金の増加	108	
売掛金の増加	(* : 180)	←2,700-2,520
商品の増加	90	
前渡金の増加	(* : 30)	←120-90
買掛金の減少	48	
未払法人税等の減少	(* : 72)	←240-312
未払費用の減少	30	
合 計	(コ： 558)	

5. 資金運用表(2)

<u>資金運用表(2)</u>		(単位：万円)
<u>固定資金</u>		
資金の源泉		
建物の売却		120
減価償却費		480
長期借入金の増加		510
留保利益の増加	(注 1)	(* : 108)
合 計		サ : 1,218
資金の使途		
建物の購入		(* : 1,110)
運転資金への充当		シ : 108
合 計		(* : 1,218)
 <u>運転資金</u>		
資金の源泉		
前払費用の減少		18
短期借入金の増加		(* : 480)
固定資金からの流用		(* : 108)
合 計		ス : 606
資金の使途		
現金の増加	(注 2)	(セ : 156)
売掛金の増加		(* : 180)
商品の増加		90
前渡金の増加		(* : 30)
買掛金の減少		48
未払法人税等の減少		(* : 72)
未払費用の減少		30
合 計		(* : 606)

(注 1) $(570 - 252) - (510 - 300) = 108$ (注 2) $(1,350 - 252) - (1,242 - 300) = 156$ **問 4**

解答参照。

問 5

解答参照。

問題 2 (単位：千円)**問 1**

ア. 補助部門 1 から製造部門 1 へ配賦される額

$$12,000 \times \frac{\textcircled{1,400} \times 10,000\text{h}}{\textcircled{1,400} \times 10,000\text{h} + \textcircled{1,600} \times 10,000\text{h}} = \textcircled{5,600}$$

イ. 補助部門 2 から製造部門 1 へ配賦される額

$$10,500 \times \frac{3,000\text{h}}{15,000\text{h}} = \textcircled{2,100}$$

ウ. 製造部門 1 の部品 P へ配賦される額

$$12,000 (= 4,300 + 5,600 + 2,100) \times \frac{8,000\text{h}}{10,000\text{h}} = \textcircled{9,600}$$

エ. 製造部門 2 の部品 P へ配賦される額

$$20,800 (= 6,000 + 6,400 + 8,400) \times \frac{7,000\text{h}}{10,000\text{h}} = \textcircled{14,560}$$

オ. 部品 P の直接費

$$\text{直接材料費} : 600,000 \text{ 個} \times \textcircled{80} = 48,000$$

$$\text{直接労務費} : \textcircled{1,400} \times 8,000\text{h} + \textcircled{1,600} \times 7,000\text{h} = 22,400$$

$$\text{合 計} \quad \underline{\underline{\textcircled{70,400}}}$$

カ. 部品 P の単位当たり製造原価

$$(70,400 + 9,600 + 14,560) \div 600,000 \text{ 個} = \textcircled{157.6}$$

* 部品 Q の単位当たり製造原価

$$(47,600 + 2,400 + 6,240) \div 400,000 \text{ 個} = \textcircled{140.6}$$

キ. 部品 P の売上総利益率

$$\frac{160 \text{ 円/個} - 157.6 \text{ 円/個}}{160 \text{ 円/個}} = \textcircled{1.5} \%$$

問 2

ク. 段取時間 1 時間当たりの配賦額

$$15,160 \times \frac{1}{1,000 \text{ 回} \times 2\text{h/個} + 2,000 \text{ 回} \times 4\text{h/個}} = \textcircled{1,516} \text{ 円}$$

ケ. 部品 P へ配賦される段取費

$$\textcircled{1,516} \text{ 円} \times 2,000\text{h} (= 1,000 \text{ 回} \times 2\text{h}) = \textcircled{3,032}$$

* 部品 Q へ配賦される段取費

$$\textcircled{1,516} \text{ 円} \times 8,000\text{h} (= 2,000 \text{ 回} \times 4\text{h}) = \textcircled{12,128}$$

* 部品 P へ配賦される間接費の総額

- ① 製造部門 1 の生産計画
マテリアルハンドリング : 配賦率 = $\frac{2,440}{10,000h} = 244$ 円/h
- ② 製造部門 2 の生産計画
マテリアルハンドリング : 配賦率 = $\frac{3,500}{10,000h} = 350$ 円/h
- ④ 製造部門 1 の
機械メンテナンス : 配賦率 = $\frac{3,600}{3,000h} = 1,200$ 円/h
- ⑤ 製造部門 2 の
機械メンテナンス : 配賦率 = $\frac{8,1000}{12,000h} = 675$ 円/h

①の配賦額 : @244 円/h × 8,000h =	1,952
②の配賦額 : @350 円/h × 7,000h =	2,450
③の配賦額 :	3,032
④の配賦額 : @1,200 円/h × 2,000h =	2,400
⑤の配賦額 : @675 円/h × 8,000h =	5,400
合 計	<u>15,234</u>

コ. 部品 Q へ配賦される間接費の総額

①の配賦額 : @244 円/h × 2,000h =	488
②の配賦額 : @350 円/h × 3,000h =	1,050
③の配賦額 :	12,128
④の配賦額 : @1,200 円/h × 1,000h =	1,200
⑤の配賦額 : @675 円/h × 4,000h =	2,700
合 計	<u>17,566</u>

サ. 部品 P の単位原価

$$(70,400 + 15,234) \div 600,000 \text{ 個} \approx \boxed{142.7} \text{ 円/個}$$

* 部品 Q の単位原価

$$(47,600 + 17,566) \div 400,000 \text{ 個} \approx 162.9 \text{ 円/個}$$

問 3

解答参照。

問 4

解答参照。

問 5

解答参照。